

# お天気解説 アキラのズバッと

温暖化による影響シリーズ  
「温暖化と雪」その2

## 東京の積雪記録

令和5年12月8日  
江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡

暖かい日、寒い日が交互に訪れ、寒暖差が大きいですね。季節が進むとさらに気温が下がり、低気圧が通るときに都内でも雪が降る日があります。前号では関東南部の雪は主に南岸低気圧によることをお伝えしましたが、今回は、実際に東京でどのくらい雪が積もったことがあったのか、紹介したいと思います。

気象庁では東京都心で1875(明治8)年から積雪の観測を続けていますが、最深1位は46cm(1883年2月8日)、2位は38cm(1945年2月22日)、3位は36cm(1936年2月23日)で、いずれも南岸

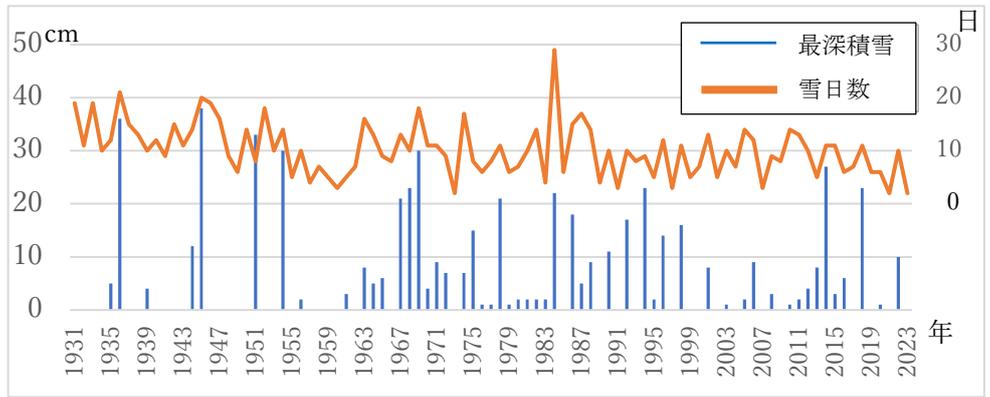


図 年ごとの最深積雪と雪日数 気象庁データより作成

低気圧による大雪です。もっと昔、江戸時代の日記などに江戸で「大雪二尺」「大雪三尺」という言葉が出てくるようです…三尺とは、90cmです！そういえば、赤穂浪士の討ち入りも桜田門外の変も、二・二六事件もみな江戸・東京の雪の日でしたね。

さて、温暖化が進み東京の積雪は少なくなっているのでしょうか？気象庁のデータから東京の最深積雪(その年の最も深い積雪)と雪日数(その年に雪の降った日数の合計)を1931年からグラフにしてみました(上図)。これを見ると、最深積雪は徐々に少なくなっているものの近年でも20cmを超えた年があります。一方、雪日数は、昔は10日以上

の年が多く、近年では10日以下の年が増えています。

昔、当たり前のように降っていた東京の雪は徐々に珍しくなっていますが、たまに20cmを超えるような大雪が降ると、戸惑う人がさらに多くなりそうです。

次回の温暖化による影響シリーズは、「雪は天から送られた手紙」です。

2023年12月08日11時 気象庁 発表			
日付	今日 08日(金)	明日 09日(土)	明後日 10日(日)
東京地方	晴	晴	晴時々曇
降水確率(%)	-/-/0/0	0/0/0/0	10
信頼度	-	-	-
東京 気温 (℃)	最高	17	19 (17~20)
	最低	-	6

東京地方の週間天気予報より

気象庁HPから抜粋

(週末はとても暖かそうですね)